

a, b, c を自然数とすると、次の問いに答えよ。

- (1) a が 3 の倍数でないならば、 $a^2 - 1$ は 3 の倍数であることを示せ。
 (2) $a^2 + b^2 = c^2$ が成り立つとき、 a, b の少なくとも一方は 3 の倍数であることを示せ。
 (3) a, b が互いに素で、 $a^2 + b^2 = c^2$ が成り立つとき、 c は奇数であることを示せ。

(02 関西学院大 理・工 5)

【答】

- (1) 略 (2) 略 (3) 略

【解答】

- (1) a は 3 の倍数でないので、 $a = 3a' \pm 1$ (a' は整数) とおくことができる。

$$a^2 - 1 = (3a' \pm 1)^2 - 1 = 3(3a'^2 \pm 2a') = (3 \text{ の倍数}) \quad \dots\dots (\text{証明終わり})$$

- (2) 背理法を用いる。 a, b がともに 3 の倍数でないを仮定する。

(1) より $a^2 = (3 \text{ の倍数}) + 1$, $b^2 = (3 \text{ の倍数}) + 1$ であり、

$$a^2 + b^2 = (3 \text{ の倍数}) + 2$$

一方

$$c^2 = \begin{cases} 3 \text{ の倍数でないとき,} & (3 \text{ の倍数}) + 1 \\ 3 \text{ の倍数のとき,} & (3 \text{ の倍数}) \end{cases}$$

であり、3 で割った余りが異なり、 $a^2 + b^2 = c^2$ に反する。

よって a, b 少なくとも一方は 3 の倍数である。 $\dots\dots (\text{証明終わり})$

- (3) 背理法を用いる。 c が偶数であると仮定すると、 $c = 2c'$ (c' は整数) とおける。このとき、 $a^2 + b^2 = c^2 = 4c'^2 (= (\text{偶数}))$ であり、 a^2, b^2 すなわち、 a, b は

(i) ともに偶数 または (ii) ともに奇数

のいずれかである。 a, b が互いに素であることから (i) はあり得ない。

(ii) のとき、 $a = 2a' + 1, b = 2b' + 1$ (a', b' は整数) とおくことができる。

$$\begin{aligned} a^2 + b^2 &= (2a' + 1)^2 + (2b' + 1)^2 = 4(a'^2 + b'^2 + a' + b') + 2 \\ c^2 &= 4c'^2 \end{aligned}$$

となり、4 で割った余りが異なり、 $a^2 + b^2 = c^2$ に反する。

よって c は奇数である。 $\dots\dots (\text{証明終わり})$